

令和5年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第四小学校長

令和5年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.2%					○
算数	62.5%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	71.2%					○
情報の扱い方に関する事項	63.4%					○
話すこと・聞くこと	72.6%					○
書くこと	26.7%					○
読むこと	71.2%					○

【考 察】

- すべての領域で全国平均を上回りました。特に、文章の内容を正確に読み、自分の考えをまとめて書くという問題がよくできていました。友達の考えと比較しながら自分の考えをまとめたり、新聞記事から分かることを根拠を明らかにしながら書いたりする活動を多く取り入れてきた成果です。
- 複数の情報を整理して読む力をさらにつけるために、目的に応じて複数の語句を図示により関連付けたり、読書活動の充実を図ったりしていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	67.3%					○
図形	48.2%					○
変化と関係	70.9%					○
データの活用	65.5%					○

【考 察】

- すべての領域で全国平均を上回りました。特に、「データの活用」の領域では、組み合わせた複数のグラフや表から、分かることを正確に読み取ることができました。今後もグラフや表のどの部分から、どのように考えたのかを明らかにしながら、友達に分かるように伝える指導を大切にしていきます。
- 日常生活の問題を解決するために、日常の場面と数量の関係を正しく捉えさせ、問題の解決方法を式や言葉、図などを用いて説明することができるように、引き続き指導していきます。

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第四小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

### 1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		よく している	ときどき している	あまり していない	全く していない
小	全 国	28.7	42.0	22.1	7.1
6	白四小	41.4	41.4	17.2	0.0

(単位 %)

#### 【考 察】

- 「よくしている」「ときどきしている」の割合が多くみられたことは、生活ノートに家庭で学習する内容を毎日記入させ、家庭と連携を取りながら、学習習慣づくりに努めてきた成果です。
- 県の「家庭学習スタンダード」や本校の「家庭学習の手引き」を参考にしながら、自ら計画を立てて学習し、振り返りができるようにさらに励ましていきます。

### 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	11.8	13.8	31.5	26.9	11.4	4.6
6	白四小	10.3	20.7	34.5	24.1	10.3	0.0

(単位 %)

#### 【考 察】

- 本校の「家庭学習の手引き」では、1時間以上の学習時間をめやすとしており、ほぼ達成されています。また、「全くしない」という児童もいないことから、家庭学習の大切さを理解し、習慣化されています。
- 学習時間が1時間未満の児童については、授業で学習したことと関連させながら自主学習を行うことやノートの使い方等を指導し、より一層家庭での学習習慣が身に付くよう個別に働きかけていきます。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小	全国	7.6	10.9	18.8	22.7	15.4	24.5
6	白四小	0.0	10.3	6.9	41.4	13.8	27.6

(単位 %)

【考 察】

- 朝の時間に、読書や読み聞かせの時間を週2回設けたり、学年の読書量を紹介する「読書の花」を学期ごとに掲示したりして、読書環境を整えています。また、学校司書と連携しながら、各学年の国語の教科書に載っている「必読書」から推薦本を選定し、児童に読書を促し読書意欲を高めています。
- 全く読書をしない児童もいることから、家庭でも読書時間が確保できるよう、毎週水曜日の「メディアコントロール」の取り組みと関連させながら、家庭での読書を推進し、読書の楽しさを味わわせていきます。

4 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。

		当てはまる	どちらかという 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全国	31.8	45.4	17.6	5.1
6	白四小	41.4	51.7	3.4	3.4

(単位 %)

【考 察】

- 約93%の児童が「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と回答しています。「学級力アンケート」を毎月実施し、よりよい学級にしようと児童が話し合い、改善を図ってきた成果です。
- 「学級力アンケート」と併せて、楽しい学校生活を送るためのアンケート（Q-U）を活用しながら、児童の実態を適切に把握し、一人一人が互いに認め合い、安心して生活できる学級集団をめざしていきます。